

	クラッチon時	クラッチoff時
作動圧	摩擦板を押し付けるピストンの圧力 【目安】800rpm時 18Kg/cm ² 以上	0Kg/cm ²
ブレーキ圧	0Kg/cm ²	ブレーキピストンを押し付ける圧力 【目安】800rpm時 7Kg/cm ² 以上
ポンプ圧	ほぼ作動圧と同じ	ほぼブレーキ圧と同じ
潤滑圧	on/offとも同じ	

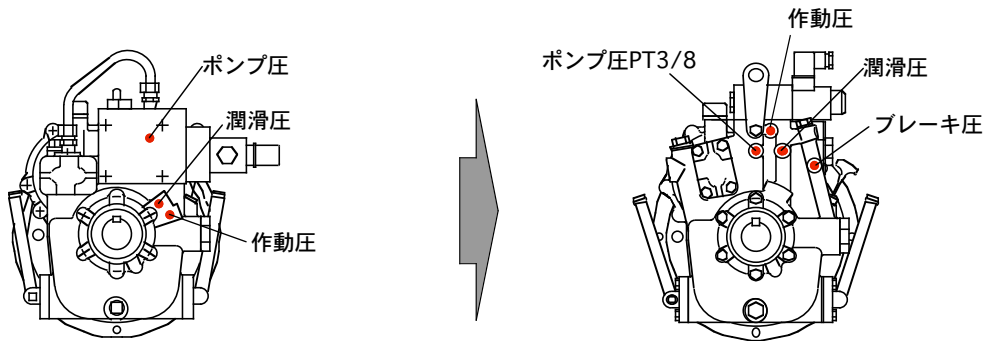
モデル、製造時期、仕様により上記の目安圧力と異なる場合があります。
製造番号をご指示いただければ、工場出荷前の試運転記録から正確な圧力をお知らせすることが可能です。

口径の記載がない取出しポートは、すべてPT1/8です。

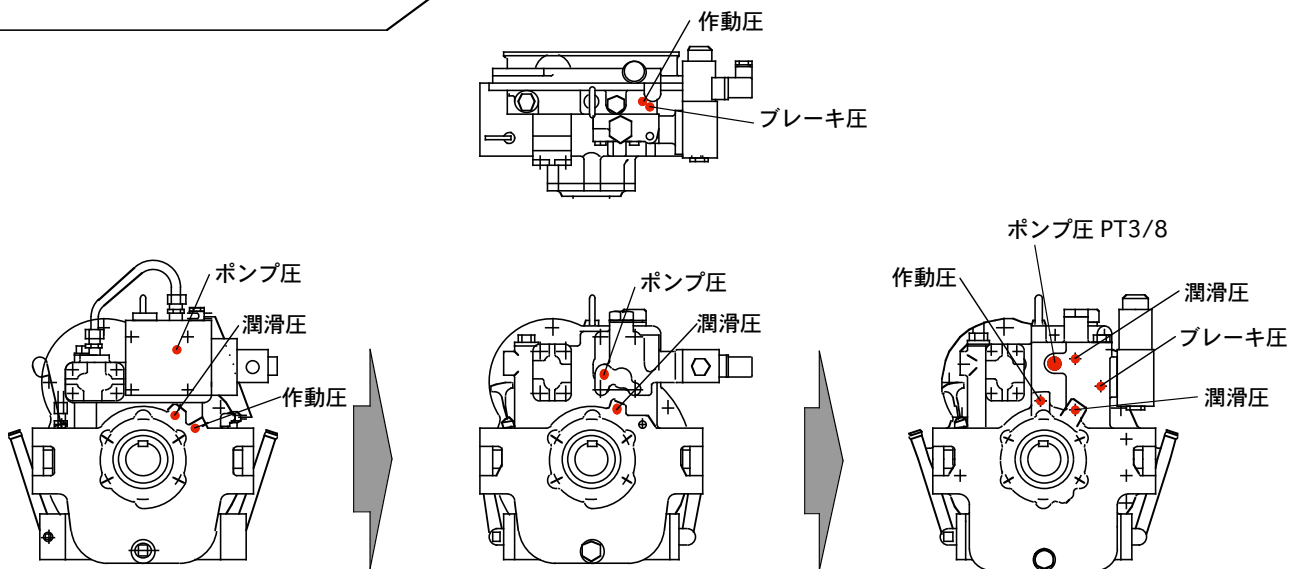
油の温度が40～50度付近で計測して下さい。

各圧力はほぼ安定するのが正常です。もし測定で0.1～0.2Mpa(1～2Kg/cm²)以上圧力計の針が振れるようであれば、異常を疑うべきです。

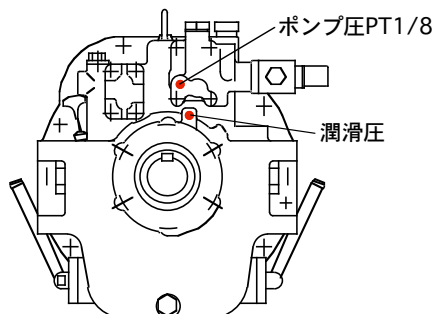
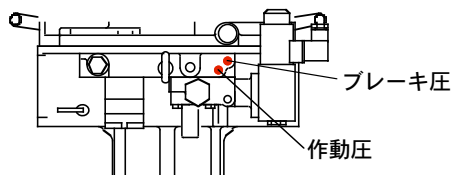
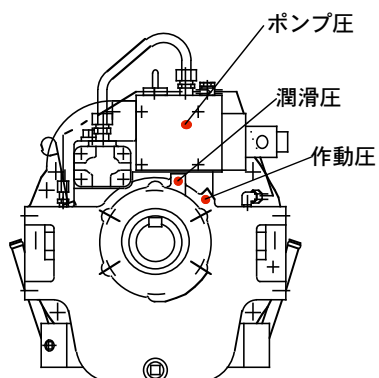
PH15



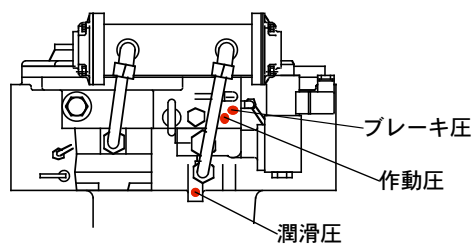
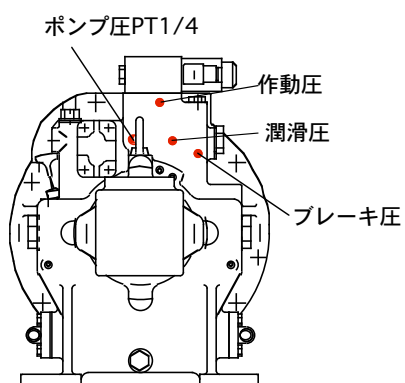
PH20



PH40/50/60/80/100



PHV40/50/60



PH120/180
PH2000

